

# 2017 年度事業報告書

## I 事業概要

当協会は、滋賀県における国際交流活動を推進する中核的な団体として幅広い国際交流事業を展開しており、2016 年度からは第 2 期中期計画に基づき、「国際感覚に優れたひとづくり」、「多文化共生の地域づくり」、「情報収集・提供による環境づくり」、「ボランティア、市民活動団体の活動促進」、「協会の基盤整備」の 5 本柱に基づき事業を実施している。

2017 年度の重点的な取組としては、外国にルーツを持つ子どもの進学と就労に関する情報を提供する場として、従来の「進路ガイダンス」と「職業人と語る会」を統合した『進路フェア』を開催した。

また、2018 年にミシガン州との姉妹提携 50 周年を迎えることから、2017 年の使節団受入れ時に執り行われた各種記念事業を、県と連携して実施するなど、県民により身近に国際交流を感じてもらうための取組を行った。

その他、継続的な事業として、外国人住民に対する生活相談を始め多岐にわたる支援を行うとともに、行政、市民活動団体、NPO 間の連携を促進し、外国人住民が日本人住民とともに地域の一員として安心して生活できる多文化共生社会づくりに取り組んだ。

さらに、学校教育や社会教育の場における国際教育を推進するため、実践例や教材等の情報提供、講師派遣を行うなど、人材の育成に取り組んだ。

## II 事業実績

[自主] : 自主事業、[助成] : 助成事業、[補助] : 補助事業、[委託] : 委託事業

### 《 国際感覚に優れたひとづくり 》

#### 1 国際教育啓発事業

##### (1) 国際教育・開発教育の普及（オリジナル開発教育教材の普及） [自主]

###### ① オリジナル開発教材

独自に開発した国際教育教材の普及を図るため、ワークショップの開催や講師派遣による実演、教材の貸出、販売等を行った。

○「ブラジルボックス」	貸出件数：	25 件
○「非識字体験ゲーム」	貸出件数：	1 件
	販売数：	18 セット
○「言葉がわからない」体験ゲーム震災編	貸出件数：	2 件
	販売数：	54 セット※
○「わたしん家の食事からカードゲーム版」	貸出件数：	6 件
	販売件数：	8 セット

※「ちがい ドキドキ 多文化共生ナビ～在日外国人教育実践プラン集～」(発行：大阪府在日外国人教育研究協議会 2017 年 6 月) および「平成 29 年度 人権教育研究収録」(発行：愛知県高等学校教育課題研究 2018 年 3 月) で「言葉がわからない体験ゲーム」を活用した授業実践が掲載された。

- ② 国際教育教材体験フェア in 滋賀の開催 (共催：JICA 関西)  
 開催日：6月25日(日)  
 会場：ピアザ淡海(大津市)  
 参加者：49人
- ③ 国際教育教材の貸出(オリジナル教材除く)  
 ・所蔵数：655冊/点  
 ・貸出件数 24件、貸出点数 延べ78点(オリジナル教材を除く)

(2) 国際教育の研究 [自主]

- ① 国際教育研究会「<sup>ぐろーかる ネット しが</sup>Glocal net Shiga」による研究  
 研究会開催回数：11回、参加者：延べ111名 (開催日：参加者)  
 (4/26：11名、5/14：9名、6/11：13名、6/25：13名、9/2：7名、  
 10/22：8名、11/19：7名、12/9：10名、1/20：15名、2/25：8名、  
 3/3：10名)
- ② オリジナル開発教材普及促進のための講師派遣  
 オリジナル開発教材を活用した授業・研修等に対して講師を派遣し、  
 教材活用の普及および販売促進に努めた。 派遣数：7件

(3) 国際教育の担い手の育成 [自主]

- ① ファシリテーター養成講座の開催 (共催：JICA 関西)  
 国際教育ワークショップ  
 「地球市民を地域とともに育てよう Part 16 時事問題を教室に  
 ーメディアを主体的に批判的に読み解く力を育てよう!ー」  
 講師：石川 一喜さん(拓殖大学国際学部 準教授)  
 開催日：3月3日(土)  
 会場：ピアザ淡海(大津市)  
 参加者：41人
- ② 国際教育の相談対応・出張講座のコーディネート  
 ア. 国際教育講師紹介、教材・授業案に関する相談対応：65件  
 イ. 講師派遣数：25件(オリジナル開発教材講師派遣数含む)  
 ウ. 講師(国際協会職員)派遣、訪問研修受入

6/20	守山市立守山南中学校 2 学年担当教員 人権研修	受講者	18 人
8/23	まほろば児童クラブ(守山市)	参加者	36 人
9/13	県立国際情報高校 2 年生人権研修	参加者	240 人
10/16	大津市立仰木中学校 3 年生	参加者	延 60 人
10/17	甲賀市立朝宮小学校人権研修	参加者	66 人
11/18	立命館守山中学校 2 年生	参加者	41 人
11/28	大津市立打出中学校 3 年生	参加者	34 人
12/11	長浜市立南郷里小学校	参加者	564 人
12	1~6 年生		(両日延べ)
2/14	県立国際情報高校 1 年生人権研修	参加者	240 人

- ・ 2/19 県立長浜北高校 1年生人権研修 参加者 316人
- エ. 国際教育協働推進事業報告書（ウェブ版）発行  
オ. アドバイス等

- 開発教育協会関西ブロック運営委員会」委員  
(主催：(特活)開発教育協会)
- (特活)開発教育協会情報誌「DEAR News 186号」活動紹介執筆
- 県教育委員会主催「学校支援メニューフェア」(8月4日)  
平成29年度「地域の力を学校へ」推進事業にかかる感謝状授受

③ 「国際教育」に関する教員研修への参画

滋賀県総合教育センターより依頼を受け、主に10年経験者を対象とした「国際理解教育」に関する研修を開催した。

[中堅教諭等資質向上研修選択研修「国際理解」]

- ・ 開催日：8月21日(月)
- ・ 会場：ピアザ淡海(大津市)
- ・ 参加者：17人

## 2 国際交流推進事業

### (1) 裾野を広げる国際交流～身近な異文化体験～ [自主]

#### ① 子ども多文化体験プログラム

開催日：4月30日(日)

会場：ピアザ淡海2階 国際情報サロン

内容：「めざせカポエイリスタ！華麗な華麗なジンガステップを身につけよう♪&ブラジルのおはなし」

講師：カポエラグループ ガハ

元JICA青年海外協力隊員

参加者：親子48人(全4回合計人数)

\*びわ湖ホール主催 “ラ・フォル・ジュルネびわ湖2017” 「キッズプログラム」との連携

#### ② 外国人アーティスト絵画展 in ピアザ淡海

県内に住む外国人アーティストによる絵画展をピアザ淡海ロビーで開催「ブラジルにつながりを持つふたり展」

・ 作家：タケウチ シェイラさん  
ナカシマ マユミ さん

・ 開催日：11月12日(日)～11月26日(日)

・ 作品：人物画、織物等約20点

### (2) ミシガン州立大学連合日本センター(JCMU)の管理運営 [委託]

#### ① 施設の維持管理

JCMUの各種プログラムの受講者や教職員のニーズを把握し、快適な環境でセンターを利用できるよう施設の維持管理を適切に行った。

#### ② プログラムの運営支援

センターが開催する英語プログラムの円滑な運営を図るため、広報活動の

推進や国内諸機関と連絡調整を図った。

ア. プログラムパンフレットの作成・配布

- ・ 県民向け英語プログラムパンフレット  
作成部数：学期用4， 000部/回  
作成配布：4回（6月：夏学期、8月：秋学期、11月：冬学期、3月：春学期）
- ・ 土曜子ども英語教室パンフレットの作成・配布  
作成部数：2， 500部/回  
作成配布：1回（3月）
- ・ 国内留学プログラム  
作成部数：1， 500部/回 + ポスター100枚/回  
作成配布：2回（7月、11月）

イ. 英語プログラム受講者数（単位：人）

講座名	受講者数
県民向け英語講座（年4学期+集中コース）	410人
うちJCMU会場	310人
うち南草津コース	100人
こども英語教室（彦根）	95人
中学・高校英語講座（水口東中学高等学校、河瀬中学高等学校、彦根東高校、米原高校、虎姫高校）	245人
県立看護専門学校	20人
聖泉大学（人間学部、看護学部）	99人
国内留学（2週間集中英語講座）	42人
古河AS株式会社	15人
彦根市役所（職員向け英語教室）	12人
武庫川女子大学附属中学校	47人

(3) ミシガン日本センターを活用した地域との交流プログラムの実施

① 地域交流プログラム

- 水口東中高ワークショップ（6月）
- 彦根&ミシガン国際交流会（7月）
- 週末ホームステイ（7月、10月、2月）
- 米原高校英語研修受講生との交流会（9月）
- 滋賀県高校生スピーチコンテストへの協力（11月）
- 京都光華女子大学との交流会（11月）
- 虎姫高校科学英語講座プレゼンテーションへの協力（1月）
- 河瀬高校ワークショップ（3月）

② 第7回JCMU留学生といっしょに親子ハイキング&オープンキャンパス

\*台風のため中止。

開催日：9月17日（日）、場所：JCMUおよび近江八幡市内、  
参加予定者：日本人親子27人、JCMU留学生16人、大学生サポーター8人  
予定内容：ハイキングしながら、英語や日本語で異文化コミュニケーションを体験する。また、JCMU  
施設見学や子ども英語講座の体験などのオープンキャンパスも同時開催。

### ③ 公開講座の開催

- ア. テーマ：「英語に親しもう！クリスマスミニコンサート」  
出演者：ボーカルアンサンブル “Jenkins Squad Leaves”  
開催日：12月16日（土）  
会場：ミシガン州立大学連合日本センター エントランスホール  
参加者：57人
- イ. テーマ：「コヴィー流英語学習を成功させる7つの習慣」  
講師：サミュエル ソレンソンさん(JCMU 英語プログラム専任教官)  
開催日：3月17日(土)  
会場：ミシガン州立大学連合日本センター 大会議室  
参加者：51人
- \*10月28日（土）開催予定の「大学のグローバル化について」  
（講師：ジョン K ハジック MSU 教授）は荒天のため中止。

(参考)

○日本語・日本文化プログラム学生数（単位：人）

- ・ 短期特別プログラム（5～8月）： 45 【26】
- ・ 夏学期（6～7月）： 44 【42】
- ・ 秋学期（9～12月）： 39 【25】
- ・ 春学期（1～4月）： 46 【35】

計：174 【128】

※【 】書きは、前年の学生数・受講者数

### (4) ミシガン州友好親善使節団〔自主〕

#### ① ミシガン州友好親善使節団の受入

受入人員 27人  
受入期間 9月9日（土）～13日（水）（うちホームステイ4泊5日）  
滞在都市 大津市10人、彦根市2人、栗東市3人、甲賀市4人、  
野洲市2人、湖南市1人、高島市5人

#### ② 50周年記念事業への協力（主催：滋賀県）

- ア. 記念モニュメント除幕式および記念植樹（参加者：136名）  
開催日 9月8日（金）  
場所 ミシガン州立大学連合日本センター（彦根市）
- イ. 記念式典およびレセプション（参加者：約260名）  
開催日 9月9日（土）  
場所 びわ湖大津プリンスホテル（大津市）

### (5) 姉妹友好州省等交流代表団の受入等〔委託〕

#### ① リオ・グランデ・ド・スール州知事団受入

受入人員 19人  
受入期間 6月8日（木）

#### ② 駐日ベトナム大使館団受入

受入人員 3人  
受入期間 10月13日（金）

③ リオ・グランデ・ド・スール州団受入

受入人員 5人

受入期間 10月15日(日)～19日(木)

④ 湖南省対外友好協会・芸術家代表団受入

受入人員 11人

受入期間 11月25日(土)～12月2日(土)

⑤ さくらサイエンスプラン湖南省研修団

受入人員 10人

受入期間 11月27日(月)～12月6日(水)

⑥ ミシガン州芸術団

受入人員 3人

受入期間 2月8日(木)～12日(月)

3 国際協力の促進

海外技術研修員の受入 [委託]

受入人員 : 2人 (内訳 : 中国湖南省、ブラジル 各1人)

受入期間 : 8月21日(月)～12月21日(木) (4ヶ月間)

専門技術習得 : 環境【株式会社日吉】

舞台芸術【(公財)びわ湖芸術文化財団びわ湖ホール】

《 多文化共生の地域づくり 》

1 外国人住民への支援

(1) 外国人相談窓口 [補助]

県内の外国人住民等からの医療や教育など様々な相談に対して、必要な情報の提供や助言を行った。

対応言語・相談日時 :

・ポルトガル語、スペイン語 (月曜日～金曜日 10:00～17:00)

・タガログ語、英語 (月曜日～木曜日 10:00～17:00)

相談件数 : 698件 (前年度 850件、対前年度比 82.1%)

相談内容 : 医療 119件 (構成比 : 17.1%)、教育 130件 (18.6%)、  
在留資格 25件 (3.6%)、生活 262件 (37.5%)、労働 55件  
(7.9%)、住宅 39件 (5.6%)、その他 68件 (9.7%)

(2) 外国人相談員等研修会、連絡会議の開催 [補助]

① 研修会

ア. 第1回研修会

テーマ : 「障害のある子どもへの福祉サービスと学校制度」

講師 : 尾辻 恵子 さん (滋賀県教育委員会事務局特別支援教育課主幹)

山田 遼 さん (滋賀県健康医療福祉部障害福祉課主事)

開催日 : 1月22日(月)

会場 : ピアザ淡海 (大津市)

参加者 : 16人

## イ. 第2回研修会

テーマ：「外国人技能実習制度の概要と現状について」

講師：高橋 幸雄 さん

(公益財団法人国際研修協力機構大阪駐在事務所所長)

開催日：2月21日(水)

会場：ピアザ淡海(大津市)

参加者：36人

## ② 連絡会議

1月22日(月) 16人

## (3) 外国人向け情報紙「みみタロウ」の発行 [補助] [自主]

発行回数：年4回(No.123~No.126(偶数月発行))

発行部数：計20,000部/回

(内訳) 日：3,400部、英：2,600部、ポ：4,300部、ス：2,400部、  
ハ：1,500部、中：2,400部、台：1,300部、タ：2,100部

## (4) 外国にルーツを持つ子どもへの教育支援

### ① 外国にルーツを持つ児童生徒のための「進路フェア」の開催

[助成] [自主]

概要：高校進学に向けた進路ガイダンスの開催および様々な職種に就く先輩(11職種、2先輩(学生・社会人))から児童生徒と保護者が相談会形式で直接話しを聞く機会を設けた。あわせて滋賀県教育委員会による個別進学相談ブース、滋賀労働局によるキャリア・ガイダンス・コーナーも設置した。

(職種：語学を使った仕事、獣医・動物看護師、建築関係、ものづくり(製造・設計)、介護福祉士、教師、ホテル業、飲食業、コンピュータ関係、マスメディア関係、芸術・アート系、現役大学生、社会人(大工))

開催日：7月30日(日)

会場：滋賀県立男女共同参画センター G-NETしが(近江八幡市)

参加者：計98人

外国にルーツを持つ児童生徒 52人

【内訳】小学生4人、中学生9人(うち、公立中学8人、外国人学校1人)、虹教室4人、高校生34人(うち、公立私立高19人、外国人学校15人)、不明1人

保護者30人、引率・見学者16人

### ○ ブラジル人学校でのキャリア教育出前授業への協力

講師：森 雄二郎さん(聖泉大学 講師)

開催日：11月17日(金)

会場：日本ラチーノ学院(東近江市)

参加者：高校1年：17人、3年生：17人

## ② 外国にルーツを持つ子どもへの日本語指導者養成講座 Part X [自主]

テーマ：「DLA~外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメント~の活用について(続編)」

講師：櫻井 千穂さん

(同志社大学日本語・日本文化教育センター 准教授)

開催日：9月24日(日)

会場：ピアザ淡海(大津市)

参加者：21人

## (5) 災害時外国人支援

### ① 災害時外国人サポーター登録および研修

近畿地域国際化協会連絡協議会共催研修「災害時外国人支援のための広域連携・情報伝達訓練」でのメール連絡対応訓練の実施。

サポーターメーリングリストを活用し、災害時外国人支援のための緊急連絡・要請に対応する訓練を行った。

開催日：11月28日(火)

### ② 多言語非常持出袋、防災多言語資料の貸出

貸出件数：なし

※貸出以外に、非常持出袋多言語カードを協会HPからダウンロードで使用可能。また、協会実施・協力の防災事業において展示・使用。

### ③ 消防職員対象緊急時外国人対応に関する研修会への講師派遣等

「緊急時・災害時の外国人対応について」

内容：教材「言葉がわからない 何が起こった(震災編)」を用いたワークショップおよび消防英語・ポルトガル語および「やさしい日本語」による対応について

[初任教育研修]

開催日：7月11日(火)

会場：滋賀県消防学校(東近江市)

講師：滋賀県国際交流員、協会職員

参加者：新任消防職員 51人

[初級幹部科研修]

開催日：12月22日(金)

会場：滋賀県消防学校(東近江市)

講師：滋賀県国際交流員、協会職員

参加者：初級幹部科職員 17人

### ④ 近畿ブロックでの災害時外国人支援の検討

近畿の地域国際化協会で構成する「災害時の外国人支援に関するネットワーク近畿ブロック研究会」の一員として広域連携の強化を図り、同研究会で開催する研修会や訓練への参加により、災害時の広域連携マニュアルの実効性を検証し、予防対策と発災後対応(応急対策)の両面から支援体制づくりを行った。

【研究会】4回(6/23、10/26、12/14、3/15)

会場：神戸国際協力交流センター

研究課題：Web会議ツール、大学との連携、災害時多言語翻訳について等

【共催研修の実施】(協力：滋賀県、甲賀市国際交流協会)

テーマ：災害時外国人支援のための広域連携・情報伝達訓練

内容：近畿各協会が遠隔地にいる設定で会場を区切り、「多言語支援セ



ンター設置の手引き」にもとづき、メールや電話を使った情報収集や支援体制構築の連絡調整を体験。

講師：佐藤 拓也さん (YuMake 合同会社代表)  
松村 亮平さん (NPO 法人コミュニティリンク理事)

開催日：11月28日 (火)

会場：滋賀県危機管理センター

参加者：近畿地域国際化協会・県国際室等職員 20人

#### 【共催研修への参加】

テーマ：災害時多言語支援センター 相談対応研修  
(実施団体：京都府国際センター)

内容：「やさしい日本語」カテゴリーⅡについて

講師：八木 浩光さん (一般財団法人熊本市国際交流振興事業団 事務局長)

開催日：3月20日 (火)

会場：メルパルク京都4階 (京都市)

参加者：37人 うち当協会職員1人、災害時外国人サポーター1人参加

#### ⑤ 助言等

○ 甲賀市における災害時多言語支援体制検討会議メンバー

※2018年2月に甲賀市・市協会にて災害時外国人支援協定締結。

○ 滋賀県災害時ボランティアネットワーク会議／要配慮者支援ネットワーク (事務局：滋賀県社会福祉協議会) 委員

#### (6) その他の外国人支援 [自主]

##### ① 日本語教育の支援

ア. 日本語指導者養成講座 (共催：びわこ日本語ネットワーク)

講師：浅井 華代さん

開催日：8月20日 (日) (午前・午後＝第1回・第2回)

9月 3日 (日) (午前・午後＝第3回・第4回)

9月10日 (日) (午前・午後＝第5回・第6回)

会場：第1～4回 コミュニティセンターきたの (野洲市)

第5、6回 コミュニティセンターやす (野洲市)

参加者：70人/回

イ. びわこ日本語ネットワーク防災テキスト作成協力および防災学習テキスト「いのちをまもる」指導者講習会の開催協力 (主催：びわこ日本語ネットワーク)

講師：澤田 幸子さん (一般財団法人海外産業人材育成協会日本語講師)

開催日：6月25日 (日)

会場：コラボしが21大会議室 (大津市)

ウ. びわこ日本語ネットワーク「第14回外国人による日本語スピーチ大会」への開催協力

開催日：3月4日 (日)

会場：ひこね燦パレス (彦根市)

来場者数：280人

参加人数：120人

■滋賀県国際協会会長賞：「外国人介護福祉士として思うこと」

サンティアゴ ロベルト アルバさん  
(フィリピン)

② 県内日本語教室等の情報提供

外国人向け情報紙およびホームページで県内日本語教室や外国人相談窓口情報の提供を行った。

③ 日本語教材・ブラジル教科書・関連図書の貸出

教材蔵書数：340冊 貸出件数：14件、延べ28冊

ブラジル教科書蔵書数：51冊、貸出件数：4件、延べ14冊

④ 多言語情報の提供等

外国語が通じる病院の情報提供、防災情報、多文化共生学校づくり支援サイト、多言語子育て情報サイト、生活Q&A等で随時情報を提供した。

(7) 外国籍学生等への奨学金の支給 [自主]

① びわこ奨学金支給事業 (基金：3億円)

- ・留学生 支給額：月額20,000円 支給人員：10人 (申請17人)
- ・外国籍大学生 支給額：月額20,000円 支給人員：3人 (申請4人)

【びわこ奨学金授与式】

開催日：7月9日(日)

会場：ピアザ淡海(大津市)

参加者：奨学生12人および引率者6人

2. 多文化共生によるまちづくり

(1) 防災から広げる共生のまちづくり [自主]

① 滋賀県総合防災訓練出展

内容：「言葉がわからない」ミニ体験クイズ、多言語防災資料展示・配布、東日本大震災等における外国人支援活動紹介パネル等

開催日：9月10日(日)

会場：矢橋帰帆島公園(草津市)

協力：SIAボランティア・びわこ奨学生 計3人

参加者総数：延べ約4千人(主会場のみは千人以上)

② 彦根人権のまちづくりフェスタでの防災啓発

内容：「言葉がわからない」体験ワーク、多言語防災資料展示

出展者：(公財)滋賀県国際協会・彦根市国際協会

開催日：9月30日(土)

会場：ひこね市文化プラザ(彦根市)

参加者総数：1,500人(主催者発表)

協力：SIAボランティア、県国際交流員

※彦根市国際協会と協働で実施。

③ 長浜市「防災すごろくゲーム」

内容：外国人向け防災ゲームの開発のための検討会および当日運営スタッフとしての参加

開催日：1月13日(土)

会場：長浜市多文化共生国際文化交流ハウスGEO(長浜市)

参加者：市内の外国人、市民ボランティア等

※長浜市・長浜市民国際交流協会実施事業に協力。

(2) 多文化共生に関する情報提供やアドバイス等 [自主]

① 外国人住民支援・多文化共生に関する相談対応：148件

② アドバイス等

- ・「帰国・外国人児童生徒教育指導連絡協議会」資料提供(5/30)
- ・滋賀県多文化共生市町ワーキング オブザーバー参加
- ・長浜市多文化共生・国際化のまちづくり市民会議委員
- ・滋賀県介護職員人材育成・確保対策連絡協議への協力

③ 豪州多文化主義政策交流プログラム参加（（一財）自治体国際化協会主催）  
（オーストラリア・メルボルン）（10/23-28）

④ 講師等（国際協会職員）派遣等

- |         |  |     |     |
|---------|--|-----|-----|
| ・ 6/19  | 滋賀県立大学人間学部<br>「多文化共生論」                                     | 受講者 | 58人 |
| ・ 7/13  | （一財）自治体国際化協会<br>多文化共生事業第1回ローカライズ研修会(於：京都市)                 | 受講者 | 18人 |
| ・ 8/1   | 県立膳所高校2年3組<br>教科「探究」グループテーマ「言語の性質から読み取るコミュニケーション方法」調査活動受入れ | 訪問者 | 6人  |
| ・ 11/20 | 草津市立草津中学校校内教職員人権教育研修会<br>「外国にルーツがある生徒への支援について」             | 受講者 | 35人 |
| ・ 12/18 | （一財）自治体国際化協会<br>多文化共生事業第2回ローカライズ研修会(於：東京都)                 | 受講者 | 17人 |
| ・ 12/19 | 韓国 扶余郡観光課他訪問受入れ  | 訪問者 | 5人  |
| ・ 1/23  | 大津市立日吉中学校第3学年人権学習<br>「生き方講話」（担当：3年6組）                      | 受講者 | 35人 |
| ・ 2/24  | 舟橋市国際交流協会（千葉県） 母語協力員研修会                                    | 受講者 | 14人 |

《情報収集・提供による環境づくり》

1 情報収集・提供事業

(1) 国際交流・協力情報誌「SIA しーあ」の発行 [補助] [自主]

発行回数：年3回

106号(7月)、107号(11月)、108号(3月)

発行部数：2,500部/回

(2) メールマガジン「滋賀県国際交流ニュース」の配信 [自主]

発行回数：毎月1回

送信件数：333件/回

(3) インターネット・ホームページによる情報提供 [自主]

- ① 協会ホームページアクセス数：83,409アクセス（前年度32,441）  
月平均：6,950アクセス（前年度2,703）
- ② S I A Facebook リーチ数：68,479リーチ（前年度71,287）  
（参考：記事投稿件数 398件）（前年度 451）

(4) 国際情報サロンによる情報提供 [自主]

- ① サロン展示事業および啓発展示  
「滋賀県と姉妹友好提携をしている3州省の紹介」、「姉妹提携50周年～滋賀県とミシガン州～」、「やさしい日本語」
- ② 交流スペースの貸出 40回（日本語教室等）
- ③ 国際情報サロン図書等の貸出（日本語教材、国際教育教材を除く）  
サロン図書の貸出 ・貸出：1件、2冊  
国旗の貸出（普通旗・卓上旗）  
・貸出：15件、延べ55点（13か国・地域）

(5) 関連機関・団体との連携・協働による事業実施 ※再掲

- ・ 県教育委員会、市教育委員会等（進路フェアの実施）
- ・ 滋賀県進路保障推進協議会等（進路フェアの実施）
- ・ 滋賀県医療福祉推進課（外国人介護職員養成事業の実施協力等）
- ・ （公財）びわ湖ホール（ラフォルジュルネびわ湖2017キッズプログラムの実施）
- ・ JICA 関西（開発教育・国際教育研修の実施）

(6) 海外渡航の支援 [自主]

- ① 渡航相談業務 4件
- ② 写真撮影（パスポート用写真の撮影）  
撮影日および時間：月曜日～金曜日 9:00～16:30  
撮影場所：パスポートセンター（ピアザ淡海1F）横  
利用者数：16,125人（前年度 15,915人）

《ボランティア、市民活動団体の活動促進》

1 ボランティアの活動促進

(1) S I Aボランティアの登録・紹介（3月31日現在）

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| 国際交流支援         | 登録：76人、紹介：5件、延べ13人  |
| ホームステイ・ホームビジット | 登録：63人、紹介：6件、12家庭   |
| 通訳・翻訳          | 登録：115人、紹介：8件、延べ15人 |
| 登録者数合計         | 延べ 254人（171人）       |

- ・ ボランティア オリエンテーション：随時
- ・ 関西国際交流ボランティアネットワーク会議（KIV-NET）運営委員

(2) 災害時外国人サポーター登録制度（3月31日現在）

- 登録者数：102人
- 概要：近畿広域で開催される研修会・訓練について案内。  
3月に京都府で開催された災害時の相談対応研修に参加。

### (3) ボランティア情報の発信

メーリングリストによる情報提供：52件

ボランティア相談対応：27件

## 2 市民活動団体等活動促進事業

### (1) 滋賀県国際交流推進協議会の運営支援 [自主]

参加団体：69団体（地域協会部会 16団体、団体部会 53団体）

#### ① 全体会議・部会会議

開催日：7月12日（水）

会場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：39人（全体会議）、37人（地域協会部会・団体部会会議）

#### ② 地域協会部会研修会

概要：愛荘町国際交流協会事業紹介、意見交換等

開催日：12月7日（木）

会場：愛荘町国際交流協会（愛荘町）

参加者：28人

#### ③ 団体部会研修会

概要：「かんちゃんの小さな家」「かみやんど」の活動等を伺った後、  
質疑応答。かんちゃんの小さな家に会場を移しランチ交流会。

開催日：1月15日（月）

会場：常楽寺老人憩いの家およびかんちゃんの小さな家（近江八幡市）

参加者：21人

#### ④ 全体研修会

内容：危機管理センター施設見学&ワークショップ研修

震災疑似体験ゲーム「クロスロードから考える外国人住民対応」

ファシリテーター：濱 尚美さん（神戸クロスロード研究会）

開催日：2月13日（火）

会場：滋賀県危機管理センター（大津市）

参加者：27人

#### ⑤ 運営委員会

開催回数：2回

開催日：4月26日（水）、3月20日（火）

### (2) 国際交流推進セミナーの開催 [自主]

テーマ：「資金調達（ファundraising）で押さえておきたいポイントや秘策」

講師：河合 将生さん（office musubime 代表）

開催日：7月12日（水）

会場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：35人

### (3) 市民活動団体等への支援 [自主]

「しが外国籍住民支援ネットワーク」の構成団体として運営委員への参画などを通じて活動を支援。

- ・その他、後援事業数 14件、協力事業数 1件
- ・その他、県内の関連団体等からの相談に随時対応。

### 3 JICA国際協力推進員の活動

独立行政法人国際協力機構関西国際センターから駐在（1人）

国際協力に対する県民の理解促進と支持の拡大および国際協力活動への参加促進を目的に活動した。

## 《 協会の基盤整備 》

会員向け事業やサービスの充実を図るとともに、講座や子ども向けイベント、ワークショップ開催時など各種機会において入会の案内を行った。

あわせて、来所者や国際情報サロン利用者に対して協会実施の事業や趣旨、意義について説明をすることで、会員確保に向けての啓発を行った。

\* 税額控除証明書を2017年11月29日に再取得。

（個人からの寄付《会費も含む》について、税額控除される法人として認定）

#### 会員数

個人会員：	287人	（前年度末：299人）
団体会員：	98団体	（前年度末：91団体）
計	385会員	（前年度末：390会員）